

まいづる 元気人 ⑮

レスリングを楽しもう!

舞鶴市レスリング協会理事長 三村和人さん
(東舞鶴高等学校 指導教諭)



セコンドで選手を見守る
世界ジュニア選手権 (トルコ・イスタンブール)

平成 27 年度の全国高校総合体育大会 (インターハイ) レスリング競技の本市開催を機に、子供たちにレスリングの楽しさを知ってもらおうと「ちびっこレスリング教室」が開かれています。そこで子供たちを指導されている舞鶴市レスリング協会理事長の三村和人さんにお話を伺いました。

何もないゼロからのスタート

昭和63年の京都国体レスリング会場に網野町が選ばれたのと同時に網野高校に赴任。地域一体となってレスリングの強化に取り組みました。しかし、まちにレスリングの素地はなく、地域での理解もすぐに得られた訳ではありませんでした。

レスリングの指導を始めて間もない頃、教え子が「先生、もうレスリングやめるわ」と言ってきました。「なんでやねん。こんなに頑張ってるのに、もったいないからやめんとけ」と言ったのですが、「おばあちゃんがつうしてもやめると言っつんや。覆面かぶって、栓抜きで頭をたたくようなスポーツなんかしたらあかん(プロレス?)」と(笑)。最初に始めたころはそんな感じでした。

それから何年か経つと、網野町でも徐々に市民権を得ていき、今ではオリンピックや世界大会に出場する選手を輩出するまでになりました。

夢は大きくちびっこレスリング教室

今、市が主催する「ちびっこレスリング教室」では、8人のスタッフで指導をしています。舞鶴の教室では、56人の子供たちが集まりました。網野や宮津でも最初は20人ぐらいだったので、いつかはオリンピックや世界大会に出場する選手を輩出する可能性をいつも感じています。

レスリングの指導を通じて

言っているのが、「あじや」と「マナー」。地域の中でかわいがられ、強い選手になるには、この「あじや」と「マナー」は、とても大切なことです。練習のときだけでなく、普段の生活の中でもきちんと行うように指導しています。

インターハイに向けて

平成27年8月に舞鶴市で開催されるインターハイをなんとか成功させたいと思っています。大会には約2千人の役員や選手がやって来ます。その人たちに、「舞鶴へ来て良かった」と思ってもらえるような大会にしたいです。

そして、市民の皆さんにレスリングの楽しさをもっと知ってもらいたい。そのためにも、どんどんレスリングをPRしていきたいと思っています。

今月30日には、網野で始めたキッズ教室の第一期生で、2013世界選手権日本代表の「松本真也選手」とアテネ五輪の銅メダリスト「井上謙二選手」が舞鶴にやって来てくれます。井上選手はアテネの銅メダルを持ってきてくれます。みんなで本物の銅メダルに触って、「もっときれいな色のメダルが欲しい」と夢を大きく膨らませてもらいたいと思っています。ぜひ、参加してください。(16ページに関連記事)

まいづる花図鑑 91

【ミヤマキケマン】 (ケシ科) 見ごろ3~4月頃



近畿地方より東の山地の道端などに生える越年草。たくさんの莖や葉を出し、莖の高さは20~50㍉、葉は薄く粉白色を帯び羽状に細裂する。春、莖の先に長さ2~3㍉のやや湾曲した黄色い花を穂状に付ける。

名前の由来は、「深山黄華鬘」で、花の形が仏殿に飾られる華鬘に似て、山に生え花が黄色いことから。紅紫色の花をつける「ムラサキケマン」は同じ仲間。柔らかく食べられそうだが有毒植物。

【協力】

瓜生勝朗 市文化財保護委員 (植物分野)

